## 令和4年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

	実施方針	目標	具体的な取り組み		実績	評価		課題・今後の方向性
						取組毎の 評価	方針毎の 評価	
	高齢者を地域で支える 体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で 安心して暮らすことできる ような体制を整えます。	協力事業者や民生委員等と顔の見える関係づくりに努め、課題を抱える高齢者の早期発見、情報の共有化を図る。	①川根地区見守りネットワーク連絡会:年1回 ②民生委員と包括の情報交換会:年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会:月1回	①コロナ過により 実施なし。②毎月 定例会に参加。③ 11/2笹間交流セ ンターにて開催。	Δ	0	民生委員との連携が 薄い地区を強化してい く。
			商店や移動販売と連携し、移動困難者の生活支援拡充 へ繋げる。	商店、移動販売業者との情報交換:随時	随時事業者と連携 しルート組み実 施。	0		生活支援をつなぐ会の 事業と連携し、商店と の繋がりを増やしてい く。
必		地域住民が主体的に介護予防・健康管理に取り組める よ支援します。	しまトレの継続支援を行う。併せて健康管理を推進す る。	①継続支援9か所(開催日参加により健康管理の推進) ②移動困難者のための小規模しまトレ会の設置:月1回(3か所)	している。	Δ		小学生によるしまトレ の普及活動を広げてい く。
須項目			定期的な健康管理を行い、受診時や別居家族との情報 共有ができる健康管理手帳の作成する。	医療機関と連携し健康管理手帳の作成 しまトレ・集会等にて健康管理の理解を進める 健康管理手帳の活用(介護サービス未利用者):30 名	活用は行っている が分析までは至っ ていない。	0	0	主治医と連携できるよう分析・活用方法を進めていkる。
П			介護予防普及啓発講座を開催し、住民の介護予防の意 識を高める。	介護予防普及啓発講座:年20回 内容:高齢者の病気、認知症予防、低栄養予防、熱中 症・脱水予防、口腔ケア、感染症予防等	16回実施。	0		広報誌等活用しPRす ることで依頼をさらに増 やしていく。
	認知症施策の推進	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を行い、 多世代で支え合う地域づく りを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座:年4回 ②認知症予防講座:年3回	①川根小、川根中 で開催。 ②10月開催。	Δ		川根地区での活動方 向性を今後協議してい く。
			認知症の方を地域で支える体制・活動づくりをチーム オレンジ、認知症キャラバンメイト、認知症サポー ターと共に行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会:年1回 ②チームオレンジちゃのみ定例会:月1回	①未開催 ②6月、10月開 催	Δ	Δ	認知症に対しての不適 切な介護について啓発 を行う。
			認知症カフェや運営推進会議にて、認知症に関する相 談支援や課題把握を行う。	駅前お茶のみ会:月1回 運営推進会議:年12回	開催時は参加して いる。	0		駅前お茶のみ会への 協力に力を入れてい く。
選	ウェレロ 万姓笠	高齢者支援にかかわる専門 職同士の相互理解、連携体 制を構築します。	相互に抱える疑問や課題を集約し、専門的な意見交換 を有意義に行う場を企画・開催する。	川根地区医療・介護多職種連携連絡会:年3回 テーマ:①介護に関すること、②薬に関すること、③ 医療に関すること 参加団体:医療機関(4)、調剤薬局(3)、製薬会社(1)、整 骨院治療院(2)、居宅介護支援事業所(3)、通所介護事業 所(4)、訪問介護事業所(1)、短期入所介護事業所(1)、特 養(1)、小規模多機能居宅介護(1)、グループホーム(1)	201010	Δ	Δ	コロナ過ではあるが集合で実施できる機会をうかがっている。 新しいコロナ過の関りについて担当者間の情報共有について開催予定。
択項	介護支援専門員に対す る連携体制づくりと実 践力向上支援	介護支援専門員との連携強化、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントが行えるよう支援します。	地区の介護支援専門員を対象とした連絡会を企画・開催する。	金谷・川根地区ケアマネ連絡会:年3回 個別ケース会議:随時	金谷地区と合同で 2回開催。1回川 根地区で移動販売 について実施。個 別ケース会議は頻 回に開催。	•	0	ケアマネの資質向上できるように随時取り組んでいく。ケース会議で明らかになった地域 まました。 で明らかになった地域で明らかになった地域でいく。
	めるための周知活動	窓口移転に伴う不安の解消 かできるよう、積極的に地 域へ出向き周知・認知活動 を行います。	高齢者あんしんセンターのチラシを公共施設等に設置、各種団体や集会を通じ配布する。	集会所、居場所、高齢者学級、しまトレ実施団体、ボ ランティア団体等 15か所へ設置・配布	福祉機器展や健康 講座など内容を具 体的にPRした。	0	0	日程に余裕をもってPF できるように準備・エ夫 する。
			川根小学校の児童に作成してもらう高齢者あんしんセンターのPRポスターを幅広い年代の方に見てもらえる場所に掲示する。	3月末までに集会所、商店、金融機関、医療機関等1 0か所に掲示	小学校のPR手法を 新聞に変更する。	Δ	0	小学生の思いをより伝えることができる手法 (記事)へ変更。